

## 歯学部長の選考について

前田健康歯学部長の任期満了に伴い、高橋姿学部長は歯学部教授会から推薦のあった2名の歯学部長候補適任者の中から、前田健康歯学部長を再任しました。これに伴い、以下のように歯学部執行部人事が発表されました。

歯学部執行部人事（2019. 4. 1～2021. 3. 31）

歯学部長 前田 健康

副学部長（学務） 大内 章嗣（評議員）

副学部長（副学系長・歯学科長） 小野 高裕（評議員）

副学部長（研究・施設） 大峽 淳

副学部長（国際交流・広報） 魚島 勝美

学部長補佐（総括） 井上 誠

学部長補佐（研究） 照沼 美穂

学部長補佐（国際交流） 小川 祐司

学部長補佐（施設・広報） 多部田康一

口腔生命福祉学科長 葭原 明弘

医歯学図書館長 寺尾 豊

## 教授人事について

予防歯科学分野宮崎秀夫名誉教授、歯周診断・再建学分野吉江弘正名誉教授、口腔保健学分野福島正義教授の後任として、それぞれ小川祐司先

生、多部田康一先生、吉羽邦彦先生が選考され、2018年10月1日付で発令されました。

## 名誉教授の訃報

新潟大学名誉教授齊藤力先生が、病气療養中のところ、2019年1月27日にご逝去なさいました。享年71歳。齊藤力先生は2006年11月から組織再建口腔外科学教授として本学に赴任され、2013年3

月に定年退職され、4月から母校の東京歯科大学で客員教授として御活躍されておりました。新潟大学在職中には医歯学総合病院総括副院長、歯学部副学部長、評議員をお務めになられました。

## 世界大学学術ランキング2018について

高等教育機関をさまざまな指標によって順位付けした国際的な大学ランキング、世界大学ランキングがマスコミを賑わせています。大学ランキングで有名なものに「QS世界大学ランキング」(Quacquarelli Symonds : QS)、「THE世界大学ランキング」(The Times Higher Education - Thomson Reuter : THE-TR)、「世界大学学術ランキング」(Academic Ranking of World Universities : ARWU)があります。この中で、世界大学学術ランキングは上海交通大学(中国)の高等教育研究所・世界一流大学研究センターが毎年発表している科学研究の業績を評価している

大学ランキングです。2007年からは分野別ランキングが公表され始め、2017年からは歯学分野(Dentistry & Oral Sciences)が公表されています。新潟大学歯学部は2017年には東北大学と同じ世界51-75位(国内4位)にランクされていましたが、2018年版では世界38位(国内3位)に上昇しました。国内2位の(世界30位)との差はわずかですので、より上位にランクされるよう研究活動の活性化をお願いします。(http://www.shanghairanking.com/Shanghairanking-Subject-Rankings/dentistry-oral-sciences.html)

## 平成30年度科学研究費採択状況について

1月25日の全学連絡調整会議で平成30年度科学研究費採択状況が公表されました。歯学系、歯学総合病院(歯科系)の新規採択率はそれぞれ40.3%、31.6%、課題保有率(新規+継続)は71.0%、52.2%、基盤B以上の課題割合(新規+継続)は21.5%、0%でした。なお、歯学系の新

規採択率は全学1位でした。

文部科学省が公表している中区分採択件数上位10機関ランキング(口腔科学およびその関連分野)では全国5位(H30年度の新規採択の累計数)でしたが、1課題あたりの配分額は全国2位でした。

## 平成30年度科学研究費「国際共同研究加速基金(国際共同研究強化(B))」の採択について

日本学術振興会は国際研究力強化のため、2018年度より国際共同研究加速基金(国際共同研究強化(B))の公募を開始しました。今年度の本種目の採択件数は234件と厳しい審査でしたが、口腔生化学分野の照沼美穂教授が研究題目「アルコール摂取がもたらす認知機能障害の分子基盤」で見事採択されました。この種目の採択は全国歯

学系で4件、新潟大学では1件の快挙となりました。なお、従来の国際共同研究加速基金(国際共同研究強化)は国際共同研究加速基金(国際共同研究強化(A))に移行しましたが、この種目にはこれまで、多部田康一教授、加来賢准教授、堀一浩准教授、前川知樹助教が、また今年度には高橋直紀助教が採択されています。

## アメリカ・ワシントン大学歯学部（シアトル） との部局間交流協定締結について

歯学部ではグローバル人材育成の目標の下、国際ネットワークの構築を進め、教員の学術交流、学生の交換留学を進めています。この度、予防歯科学分野小川祐司教授のご尽力により、アメリカ・ワシントン大学歯学部と部局間交流協定の準備が整い、前田歯学部長、事務員2名がシアトル市を訪問し、2018年10月31日に部局間交流協定を締結

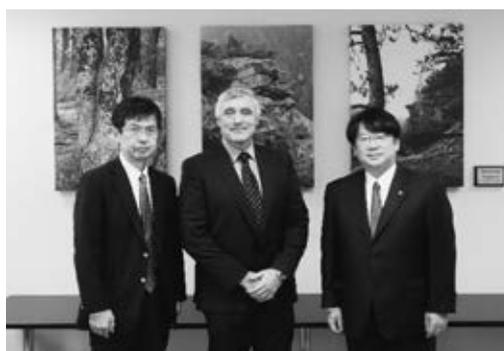
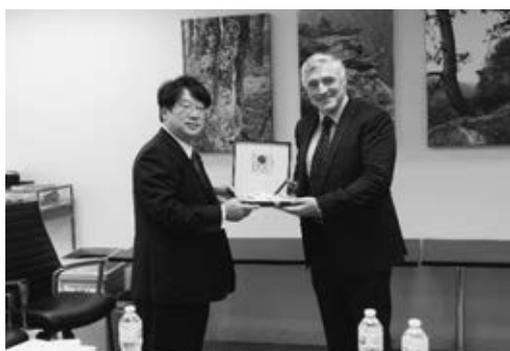
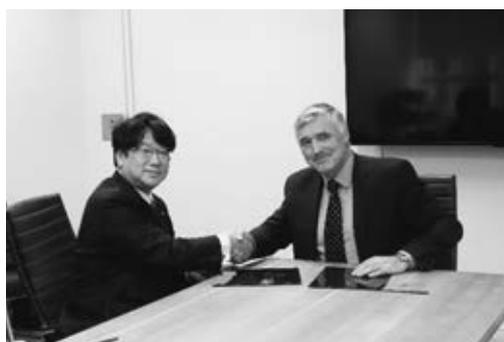
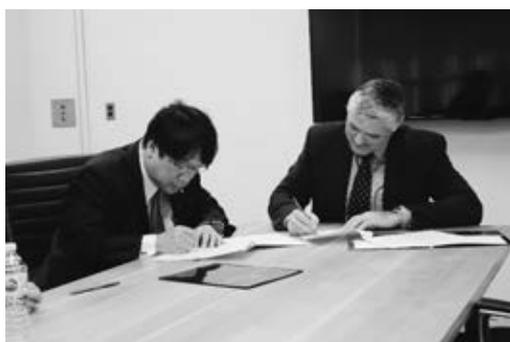
しました。アメリカ・ワシントン大学歯学部は世界大学学術ランキング（上海アカデミックランキング）の歯学部門で世界3位にランキングされている世界で有数の歯学部です。学生交流に加え、特に国際口腔保健学分野で共同研究のさらなる進展が期待されます。ワシントン大学歯学部にはこれまでに前田歯学部長が研究留学しています。



## カナダ・トロント大学歯学部との 部局間交流協定締結について

歯科麻酔学分野瀬尾憲司教授のご尽力により、カナダ・トロント大学歯学部と部局間交流協定の準備が整い、前田歯学部長、瀬尾教授、事務員2名が2018年11月2日にカナダ・トロント市を訪問し、部局間交流協定を締結しました。カナダ・トロント大学歯学部は世界大学学術ランキング（上海アカデミックランキング）の歯学部門で世界20

位にランキングされているカナダで有数の歯学部です。学生交流に加え、トロント大学にはこれまでに山村、瀬尾両教授、柿原助教が研究留学しており、共同研究のさらなる進展が期待されます。カナダにおける部局間交流協定締結校としてはブリティッシュコロンビア大学に次いで2校目となります。



## タイ・パヤオ大学歯学部との 部局間交流協定締結について

この度、タイ・パヤオ大学歯学部から部局間交流協定締結の強い要望があり、前田歯学部長、魚島副学部長（国際交流担当）、野杵教授が2018年11月20日にタイ・パヤオ市を訪問し、部局間交流協定を締結しました。パヤオ大学歯学部は創立後

間もない歯学部で、この部局間交流協定には学生交流に関する事項も含むとともに、教育スタッフの人材養成への協力が期待されています。また、12月にはミャンマー・ヤンゴン歯科大学との部局間交流協定の更新が行われました。



## ペルー・南部科学大学歯学部との 部局間交流協定締結について

硬組織形態学分野に国費留学生として在籍していたAngela Quispe-Salcedo博士からの申し出により、ペルー・南部科学大学歯学部 (Facultad de Ciencias de la Salud, Universidad Científica del Sur) と部局間交流協定締結の準備が整い、前田歯学部長、魚島副学部長 (国際交流担当) がペルー・リマ市を訪問し、2019年2月1日に部局間交流協定を締結しました。南部科学大学歯学部は設立が2008年と新しい私立大学歯学部です。現在歯学部キャンパスをリマ市郊外に新

築移転する予定しています。ペルーは親日的で日本への留学希望者も多く、また学生交換も強く希望しています。南アメリカ大陸の部局間交流協定締結校はブラジル2校に続くもので、今後の交流に期待が寄せられます。

この交流締結により、歯学部姉妹校は45校となりました。なお、現在、タイから1校、インドネシアから3校、韓国から2校の部局間交流協定締結の申し出があります。



## 国際共同シンポジウムの開催について

文部科学省の補助を受け、2019年2月10～13日にタイ・プーケット、2019年3月9～10日に台湾・台北市で、国際共同シンポジウムが開催されました。

プーケットシンポジウムは、本学歯学部とタイ・コンケン大学歯学部 (大学間交流協定締結校) との共催で開催され、ASEAN諸国、オーストラリアからの参加を得て、活発な研究発表が行われるとともに、歯学部長会議が開催され、今後の研究者・学生交流について意見交換が行われま

した。

台湾シンポジウムは昨年度に引き続き、新潟大学歯学部と台湾・国立陽明大学歯学部との共催で、台湾の7歯科大学・歯学部の参加を得て、歯学研究のフロントランナーによる基調講演、若手研究者による研究発表が行われ、若手研究者のプレゼンテーション能力の向上が図られるとともに、今後の国際共同研究の進展に議論が深められました。

## 部局間交流協定校からの 特別講演招聘について

部局間交流協定締結校であるミャンマー・ヤンゴン歯科大学（7月）およびインドネシア・エランガ大学歯学部（10月）から、学術特別講演を

依頼され、ミャンマーでは前田歯学部長と田沼教授が、インドネシアでは前田歯学部長が招待講演を行いました。

## ミャンマー・ヤンゴン大学歯学部 への医療チーム派遣

新潟大学歯学部はミャンマー・ヤンゴン歯科大学と部局間交流協定を締結していますが、Thein Kyu前学長、Shwe Toe学長より、ミャンマーで患者の多い口唇口蓋裂患者に対する医療支援が要望されていました。昨年度に引き続き、顎顔面口腔外科学分野の高木律男教授と歯科麻酔学分野

の瀬尾憲司教授による医療チームがミャンマーでの医療支援活動を行いました。ミャンマーでは医薬品等が不足しており、いろいろな分野からの支援を必要としていますので、皆様方のご理解とご協力をお願い致します。

## 留学生交流支援制度（短期受け入れ及び 短期派遣プログラム）の採択について

独立行政法人日本学生支援機構（JASSO）が公募していた留学生交流支援制度の採択結果平成31年度分）が通知されました。歯学部から短期派遣事業（短期研修・研究型）として応募していた3プログラムすべてが採択されました。なお、本

事業による奨学金受給には各種制限が設けられており、特に成績不良の学生には奨学金を支給できないこととなりましたので、短期留学希望者は成績向上に努めるようお願いします。